

タケダ機械(6150) Q3 決算発表直前状況 4/12 発表前でアウトパフォーム継続

各種建設鋼材需要旺盛でビッグプロジェクトや人手不足等が継続し収益拡大続く

19/5 期は 7.9%増収、12.1%営業増益に増額も再増額修正期待、来期も最高益更新続く

株価 2520 円 (1/11) 時価総額 25.7 億円 (1/11) 発行済株 1020 千株 (1/11)

PER (DO19/5 予 : 3.6X) PBR (0.71X) 配当 (19/5 予) 80 円 配当利回り : 3.2%

要約

- ・東京五輪や都心再開発で建築用鋼材需要が好調に推移も人出不足等で加工自動化投資拡大
- ・19/5 期は 7.9%増収、12.1%営業増益に上方修正も上期の反映に止まり再度上方修正期待
- ・20/5 期も建設現場の自動化需要に加え、部材調達正常化で受注残消化進み最高益更新続く
- ・株価は 19/5 期 DO 予想 EPS695 円に対し中小型工作機械平均 PER6 倍の 4170 円目標

東京五輪や都心再開発で建築用鋼材需要が好調に推移も人出不足等で加工自動化投資拡大

同社の 19/5 上期は 12.6%増収、27.6%営業利益増、28.8%経常増益と好調に推移、Q2

では減収減益予想が一

転して 11.1%増収、

15.5%営業増益とな

った。現状、オリンピ

ックや都心再開発な

どビル建設需要の好

調で、各種鋼材価格

の上昇も著しい。また

建設業界の人出不足

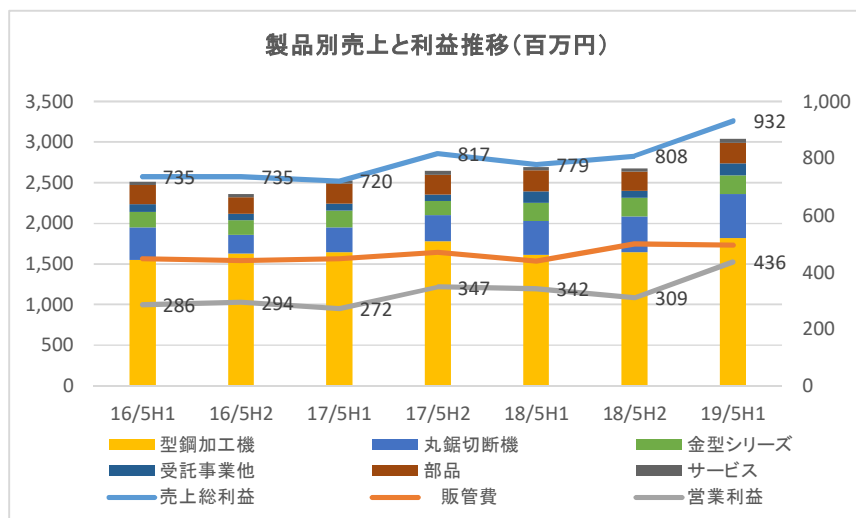
の慢性化も深刻

で、省人化投資が活

発で、型鋼加工機の

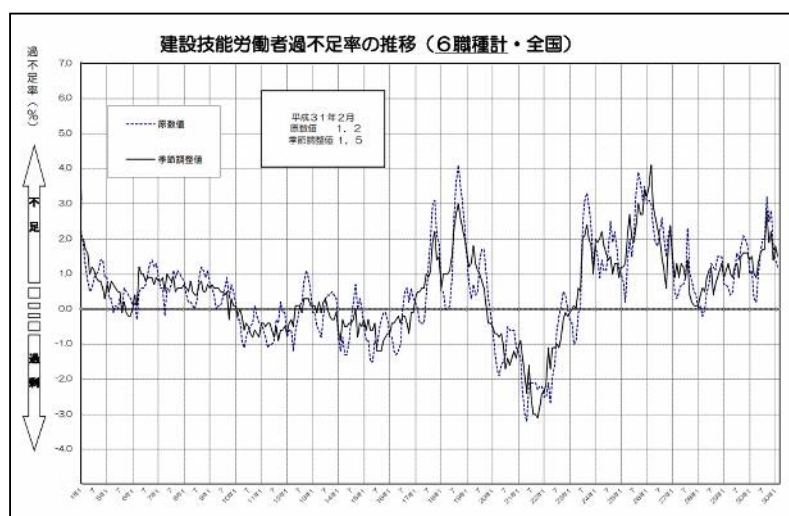
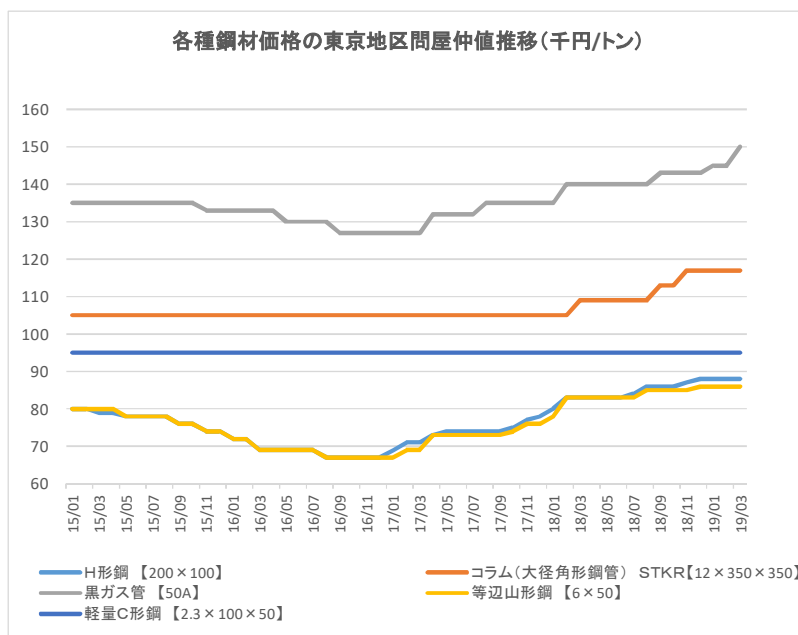
フル生産が続いている。

部門別では好調の続く形鋼加工機が 18.15 億円 (12.8%増)、角パイプ材型鋼切断を中心とする丸鋸切断機は 5.45 億円 (28.6%増) と伸長した。実際、小野建が 1.5 億円で堺スチールセンターの型鋼製品の加工設備や一般型鋼の全自動ユニット化投資などを行ったほか、中川鋼管、アイワ鋼管などでも 1.5 億円 (一部はものづくり補助金を利用) を投じ、堺倉庫の鋼管加工設備の自動化、効率化、加工の高度化のための大幅更新を行っており、同社は全自動ユニットワーカーや切断・穴開け複合機、切断機などを納入している。



## 19/5 期は 0.5%増収 5.8%経常増予想ながら、部材調達改善で会社予想を上回る見通し

会社側では Q2 で 19/5 期予想を増額、売上高 58 億円 (7.9%増)、営業利益 7.3 億円 (12.1%増)、経常利益 7.5 億円 (13.3%増)、税引利益 5.2 億円 (15.1%増) 予想とした。また配当は 20 円増配し年 80 円予想とした。但し上期修正分を上乗せしただけで、下期は 3.2%増収、営業利益 4.9%減益予想。現状、新聞紙上では都市部を中心に建設需要が盛り上がっており、4/12 発表が見込まれる同社 Q3 収益も引き続き好調を維持するものとみられ、場合によっては再度 19/5 期予想の増額修正の可能性もあり得る。従来問題となっていた部材調達も、直動軸受、ボールネジ等も台湾 PMI 社製で置換できるものは対応し、4Q には受注残消化が進む見通しで、会社予想を上回る収益が期待される。



## 20/5 期も建設現場の自動化需要に加え、受注残消化進み最高益更新続く

20/5 期もオリンピック需要で高層建築需要が堅調に推移、加え建設業界の人出不足、熟練労働者高齢化で自動化需要が続く。またコラムなどはネット通販や大型物流センター向けなどに需要が継続的に拡大、加工ニーズが高まっている。このような中で部材調達の正常化からボトルネック解消から形鋼加工機の生産拡大による収益拡大が見込まれる。また丸鋸切断機等は複合機ニーズが高まり、またアマダ向けもアマダの好調持続で伸びを続け、全体として形鋼加工機、丸鋸切断機等の売上拡大で最高益更新が続こう。

なお4月に入管法改正が実施され、建設部門も対象となり、型鋼加工の自動化、省人化投資のニーズが更に高まろう。さらにカジノ法案成立で総合リゾート建設によるポストオリンピックの建設需要が確保され、大阪万博、その後リニア新幹線工事など継続的な大型建築物需要から形鋼加工機は切れ目ない大型プロジェクトの継続から堅調な受注環境が見込まれる。長期的には型鋼加工機を東南アジア向けに拡大を目指し、具体的に秋口には東南アジア仕様の自動化機械の投入を計画している。

### 株価は19/5期DO予想EPS597円に対し中小型工作機械平均PER7倍の4180円目標

株価は連続最高益更新銘柄ながら工作機械銘柄として昨年12/25に1979円安値を付け、その後1/11のQ2決算発表時の増額、増配発表を受け、1/18には2766円まで急騰、その後はこの水準で推移している。但し現在、19/5期会社修正予想EPS565.19円に対しPER4.7倍と中小型工作機械平均PER7倍に対し割安状況にあり、増額修正も上期分を上乗せした水準で止まっている。また同社機械のユーザーは国内建設関連向けが大半を占め、下期も生産ボトルネック改善から上方修正が見込まれる。さらに4/11の工作機械受注28.5%減の日経報道を受けても下落しておらず、一般的な工作機械株とは異なるとの認識も出てきたと判断、4/12Q3発表で再増額修正も期待される。20/3期もオリンピック需要の拡大、建設業界での省人化投資、公共事業増加などで連続最高益更新が見込まれる。このため19/5期DO予想EPS597円に対し、中小型工作機械平均PER7倍水準の4180円を目標にアウトパフォーム継続とする。

タケダ機械(6150)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
18/5H1	2,699	6.8%	342	25.8%	348	23.5%	229	28.3%	249.0	0.00
18/5H2	2,675	1.3%	309	-11.0%	314	-8.3%	223	-13.5%	241.8	60.00
18/5期	5,374	4.0%	651	5.2%	662	6.1%	452	3.6%	490.8	60.00
19/5Q1	1,406	14.5%	178	50.5%	186	54.1%	141	81.0%	154.2	0.00
19/5Q2会予(10/12)	1,389	-5.5%	205	-8.2%	201	-11.5%	148	-1.6%	315.2	0.00
19/5Q2	<b>1,633</b>	<b>11.1%</b>	<b>258</b>	<b>15.5%</b>	<b>262</b>	<b>15.4%</b>	<b>177</b>	<b>17.7%</b>	<b>191.7</b>	<b>0.00</b>
19/5H1会予	2,795	3.6%	383	12.0%	387	11.1%	289	26.3%	315.2	0.00
19/5H1	<b>3,039</b>	<b>12.0%</b>	<b>436</b>	<b>27.0%</b>	<b>448</b>	<b>28.8%</b>	<b>318</b>	<b>39.1%</b>	<b>345.9</b>	<b>0.00</b>
19/5H2会予	2,605	-2.6%	307	-0.7%	313	-0.2%	211	-5.5%	228.2	60.00
19/5H2修正会予	<b>2,761</b>	<b>3.2%</b>	<b>294</b>	<b>-4.9%</b>	<b>302</b>	<b>-3.7%</b>	<b>202</b>	<b>-9.5%</b>	<b>373.5</b>	<b>80.00</b>
19/5期会予	5,400	0.5%	690	6.0%	700	5.7%	500	10.6%	543.4	60.00
19/5期修正会予	<b>5,800</b>	<b>7.9%</b>	<b>730</b>	<b>12.1%</b>	<b>750</b>	<b>13.3%</b>	<b>520</b>	<b>15.1%</b>	<b>565.2</b>	<b>80.00</b>
19/5Q3DO予	1,350	19.9%	150	57.9%	150	58.6%	130	119.6%	141.3	0.00
19/5Q4DO予	1,701	9.8%	294	37.4%	302	37.9%	192	17.1%	208.4	65.00
19/5H1DO予	2,950	9.3%	420	22.8%	420	20.6%	300	31.1%	326.0	0.00
19/5H2DO予(旧)	3,050	14.0%	420	35.9%	420	33.9%	340	52.3%	369.5	65.00
19/5H2DO予	<b>3,051</b>	<b>14.0%</b>	<b>444</b>	<b>43.7%</b>	<b>452</b>	<b>44.1%</b>	<b>322</b>	<b>44.3%</b>	<b>349.7</b>	<b>80.00</b>
19/5期DO予(旧)	6,000	11.6%	840	29.0%	840	26.9%	640	41.6%	695.6	65.00
19/5期DO予	<b>6,090</b>	<b>13.3%</b>	<b>880</b>	<b>35.2%</b>	<b>900</b>	<b>36.0%</b>	<b>640</b>	<b>41.6%</b>	<b>695.6</b>	<b>80.00</b>
20/5期DO予(旧)	6,500	8.3%	990	17.9%	990	17.9%	710	10.9%	771.6	70.00
20/5期DO予	<b>6,600</b>	<b>8.4%</b>	<b>1,010</b>	<b>14.8%</b>	<b>1,030</b>	<b>14.4%</b>	<b>720</b>	<b>12.5%</b>	<b>782.6</b>	<b>100.00</b>

年度	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期 初会予	19/5期 修正会予	19/5期 DO予	20/5期 DO予
売上高	4,872	5,167	5,374	5,400	5,800	6,090	6,600
売上原価	3,403	3,631	3,788	3,790	4,160	4,270	4,590
売上総利益	1,469	1,537	1,587	1,610	1,640	1,820	2,010
販管費	889	918	936	920	910	940	1,000
営業利益	580	619	651	690	730	880	1,010
経常利益	582	624	662	700	750	840	1,030
親株主帰属純利益	394	436	452	500	520	640	720

セグメント売上情報年度	16/5Q4	17/5Q4	18/5Q4	19/5期 会予	19/5期 修正会予	19/5期 DO予	20/5期 DO予
型鋼加工機	3,175	3,425	3,248	3,336	3,656	3,790	4,200
丸鋸切断機	635	620	868	967	951	1,050	1,100
金型シリーズ	368	388	452	423	422	400	400
受託事業他	169	162	220	212	217	230	240
部品	449	492	497	384	466	450	480
サービス	72	81	86	78	88	80	80
合計	4,872	5,167	5,374	5,400	5,800	6,000	6,500

年度	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期 会予	19/5期 修正会予	19/5期 DO予	20/5期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	69.8%	70.3%	70.5%	70.2%	71.7%	70.1%	69.5%
売上総利益	30.2%	29.7%	29.5%	29.8%	28.3%	29.9%	30.5%
販管費	18.3%	17.8%	17.4%	17.0%	15.7%	15.4%	15.2%
営業利益	11.9%	12.0%	12.1%	12.8%	12.6%	14.4%	15.3%
経常利益	12.0%	12.1%	12.3%	13.0%	12.9%	13.8%	15.6%
親株主帰属純利益	8.1%	8.4%	8.4%	9.3%	9.0%	10.5%	10.9%

TAKEDA MACHINERY CO.,LTD.

2019/4/10

